

# デジタル時代のモデルハウス マイクロソフトホーム @ シアトル 探訪記

シアトル東部の町レッドモンドにある広大なマイクロソフト社キャンパス。その1つの何の特徴もない建物の中に、近未来の住宅が隠されている。その名は「マイクロソフトホーム」。

インターネットとローカルエリアネットワーク、コンピュータやデジタルカメラなどの数々のデバイス、さらに消費者が日々買う製品に付けられたRFIDタグなどがシームレスにつながればどんな生活が可能になるのか。

マイクロソフトホームはそれを一足先に現物大モデルで実現した住居である。まずは足を踏み入れてみることにしよう。

瀧口 範子 フリージャーナリスト

## 玄関

玄関には厚重な木製の扉が付いている。呼び鈴はなく住人は扉の横にあるパネルで指紋認証を受けて入室する(写真1)。留守中に訪ねてきた客がそこに音声メッセージを残したり、あるいは荷物の配送人ならあらかじめ与えられたカードで保管ボックスを開き、荷物を置いておいたりするという事も可能だ。

入室すると、その住人のためにプログラムされた指示に従って部屋のブラインドが開いたり、照明がついたり、好みの

音楽が流れたりする。ふと横の壁を見ると、OLEDスクリーンが壁の塗料の向こうから浮かび上がり、他の家族が今どこに出かけているとか、電子メールのメッセージが誰から入っているといった内容をテキストと音声で伝えてくる(写真2)。

## リビングルーム

デジタル写真フレームを横目に見てリビングルームに入ると、そこには高品質画面の超大型テレビモニターが陣取っている(写真3)。このモニターはこの家の

管理中枢塔といってもよいだろう。最初の画面で一般情報、メディアコンテンツ、環境などのカテゴリーが選べるが、これがさらに「自分」「家族」「コミュニティー」「世界」という横軸によって選別できるようになっている。たとえば、「メディア」の音楽カテゴリーで「家族」を選べば、家族で購入した音楽ファイルが画面に呼び出されるが、「世界」とすればインターネット全体、あるいはオンライン・ミュージックショップで入手可能な音楽ファイル一覧にアクセスする。

このホームネットワークのインターフェイスは家中のどのモニターにも共通したものになっている。要は家族がみんなで家の中にあるテレビモニター、コンピュータ、デバイスを共有するという設定で、情報はその時のユーザーと用途にフレキシブルに対応してスクリーンに呼び出されるわけだ。

## キッチン

キッチンをもっと面白くなる。カウンターの上にミキサーと小麦粉を置けば、

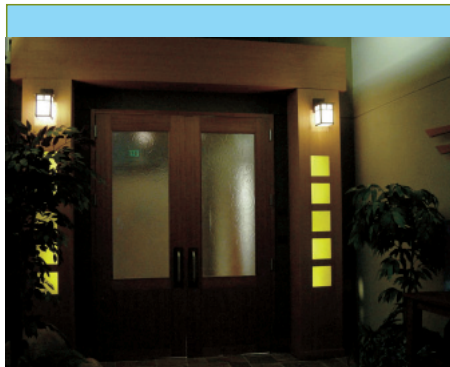


写真1 玄関のドア。黄色く光っている四角い部分は指紋認証用のタッチパネルになっている。契約業者などにはあらかじめIDカードを渡して入室させる。



写真2 玄関を入ったところにあるOLEDスクリーン。家族の予定が分かるほか、メッセージを聞いたリ、部屋の温度や音楽を調整したりする。



写真3 リビングルームのテレビスクリーン。音楽のメディアのほか、家族のスケジュール、メッセージなどすべて3Dのインターフェイスで閲覧する。

「何がご要望ですか」という音声がかえり、「レシピ」と指示すれば、すぐ横のカウンター上に小麦粉を使った料理のレシピ一覧が投射される。音声で指示しながら、気に入ったレシピを呼び出して調理を始めるという仕組みだ。冷蔵庫は食品に付けられたRFIDタグを頼りに在庫を確認して自動的にショッピングリストを作成し、電子レンジはパッケージのバーコードを認識して調理方法を調整する。

キッチンに置かれたコンピュータスクリーンでは、週末に頼めるベビーシッターの一覧が呼び出せる(写真4)。なじみのベビーシッターがみんな塞がっている場合は、ご近所や知り合いが頼んだことのある信頼できるベビーシッターを確認することも可能だ。

電子掲示板にピザ屋のカードを貼れば、「本日のスペシャル」が呼び出され、注文は指をタッチするだけの簡単さだ。パーティーへの招待状もここに貼れば、自動的にスケジュールを確認し、画面からすぐに返事が出せる(写真5)。

### 書斎

書斎では、IDカードと指紋や顔面のバイオメトリクス認証によって、オフィスのネットワークに一瞬にしてアクセスし、またオフィスにかかる電話を自宅へ転送する。コンピュータスクリーンはひとつ増えるごとに生産性が28%上昇するという調

査があり、ここではトレーダーさながら3面のスクリーンが迎える。幼い子供の居場所をGPS信号で受信し、地図上で確かめることも可能だ。

子供部屋では、その日着るTシャツを選ぶと、それに合うスカートやパンツの組み合わせが鏡に自動的に呼び出される。気に入らなければ、腕を振ると次の服が出てくる。コンピュータビジョンによるジェスチャー認識だ。クリーニングに出している服、その日の天気なども同じ鏡に同時に出てくる(写真6)。ある音楽アーティストの「デジタル著作権カード」を購入していれば、カードスロットに入れただけで最新の音楽がかかり、ミュージックビデオが壁に投射される。

### メディアルーム

メディアルームでは、さらに大型のスクリーンでチーム形式のコンピュータゲームが楽しめる。ただコンソールを手にしてスクリーンに向かうだけという現在のコンピュータゲームとは違って、タブレットPCやデジタルカメラを駆使し、「何秒内にこの象形文字を書き写す」とか「

をカメラに収める」といったフィールドワーク的なゲームがここでは想定されている。また、童話の本を子供に読み聞かせれば、内容に従って音が聞こえ、照明が劇場のように変化するという仕組みもある。

### デジタルテクノロジーと生活のモデルハウス

マイクロソフトホームは、10年前から少しずつ進化を遂げてきた。5、6年後に実現される家庭のテクノロジーがテーマだが、ここで展開されている世界観は単にこの家の中にとどまるのではなく、家電メーカー、音楽や書籍の出版社、流通業者、コミュニティーなど、社会のあらゆる構成要員の参加が前提となっているものだ。言葉を換えれば、マイクロソフトはここを未来のスタンダードづくりの舞台にしているわけで、家電メーカーや政府関係者などのグループがひっきりなしに訪れているという。

これまで、マイクロソフトホームを源として、タブレットPCやウィンドウズXPメディアセンター・エディションなどが製品化されてきた。社外では、バーコードを利用した電子レンジやデジタル写真フレームのメーカーも生まれている。

マイクロソフトはメーカーなど745社が加盟する協会「ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ」を主導するが、同社の消費者・プロトタイプ戦略チームのディレクター、ジョナサン・クラッツ氏は、「マイクロソフトが何から何まで手がけることはできない。他の企業がここへ来て、新しいビジネスや製品の機会を見つけてほしい」という。



写真4 地域で特定の日に空いているベビーシッターの検索も可能。知り合いが依頼したことがあるなど、信頼できる人物を探す仕組みがある。



写真5 家族用の掲示板はタッチパネルとセンサー付き。招待状や出前屋のカードを貼ると、インターネットに自動接続し、次のアクションを尋ねる。



写真6 娘の部屋の鏡には、選んだ洋服に合わせて、上下の組み合わせや外の気温、天気などが呼び出される。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)